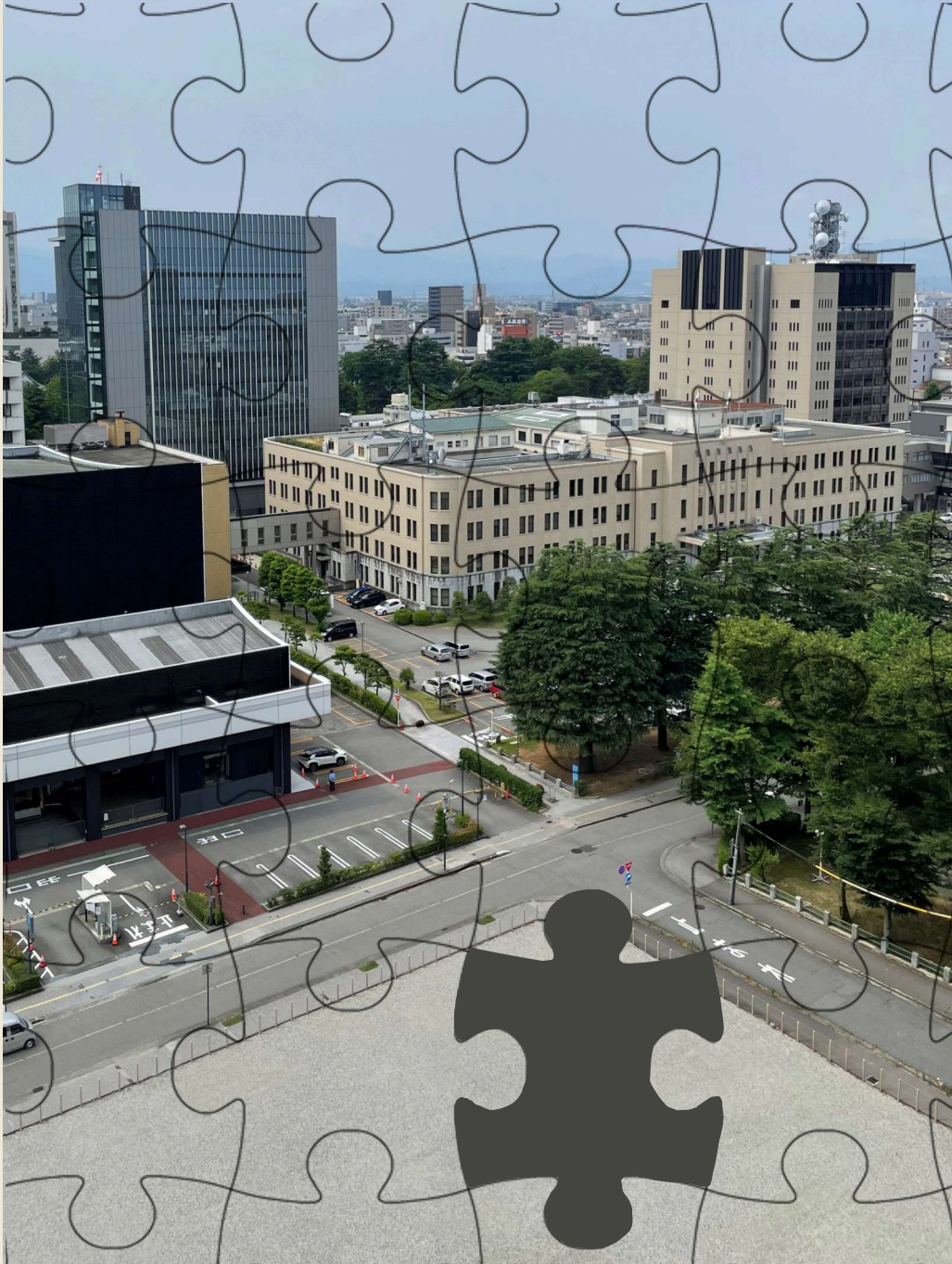


県庁周辺 エリア アイデア コンペ 発表会

発表会をご観覧いただくには、
事前申し込みが必要です。
ただし、当日参加も可能ですので、
ぜひお気軽にお越しください。



日時

2024年
12月1日(日)
14:00~17:00

県YouTubeライブ配信予定

会場

富山県庁舎本館
4階大ホール
(富山市新総曲輪1-7)

主催



事前申込受付フォーム

(<https://forms.office.com/r/OBRdSLXVcS>)



JSCE COMPETITION

このロゴマークは、土木学会建設
マネジメント委員会が発行する
『土木設計競技ガイドライン・同
解説+資料集』に本コンペが準拠
していることを表すものです。

後援

富山県庁周辺エリアマネジメント懇話会、
富山経済同友会、富山商工会議所、
国立大学法人富山大学、富山市

本イベントは参加無料となっております。ただし、駐車場の用意がございませんので、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。

これまでの県庁周辺エリアについての県の取り組み

富山県庁の北東側にはかつてNHK富山放送会館がありましたが、県とNHKとの間で土地交換手続きが行われ、現在、この旧NHK富山放送会館跡地（NHK跡地）は県が取得し、県有地となっています。

昨年度、県では基礎調査やヒアリングを実施し、県・富山市の若手職員や富山大学の学生で構成されたワークショップを通じて、県庁周辺エリアの現状と課題、そして県庁周辺エリアの3つの「ありたい姿」を整理しました。また、昨年度に引き続き、県庁内にプロジェクトチームを設置し、県有地の活用の具体的な方向性について検討しているところです。

本年9月にNHK跡地の土壌調査が終了し、10月からはNHK跡地を中心とした県庁周辺県有地の暫定活用を行うため、トリアル・サウンディングを実施しています。民間事業者や団体、学生の皆さんに短期的にイベントや事業を行っていただくことで、今後の活用策の検討やプレイヤーの発掘、まちの賑わい創出につなげたいと考えています。

また、県庁周辺エリアに関係する企業や団体、学校、住民の方々はもちろんのこと、県内、県外の多様な方々よりご意見やご提案をいただきながら、協力関係を築き、ともに未来を描いていくことが大切であり、このエリアが富山のまちの核として、歩いて楽しい、幸せあふれるウェルビーイングな場所となるよう、変化を生み出していきたいと考えています。そこでこのたび、10年後20年後を見据えた県庁周辺の未来の姿や持続可能な仕組みのアイデアを募集するコンペを開催することいたしました。

3つの「ありたい姿」

- ① 歴史・水辺・緑を活かしてまちの中心における憩いと楽しみの空間を形成し、来街者・従業者・居住者のウェルビーイングを向上させるエリア
- ② まちなかの連続性・回遊性を高めて、まちをシームレスにつなぐとともに、周辺街区に賑わいの好循環をもたらすエリア
- ③ 公有地を舞台に県内外の多様なプレイヤーが集まり、産学官民連携や人々の交流が積極的に行われ、富山のまちの核として求心力と発信力を生むエリア

発表会スケジュール

- 第1次審査通過者による公開プレゼンテーション
- アイデアに関する質疑応答
- 最終審査会
- 表彰式・講評

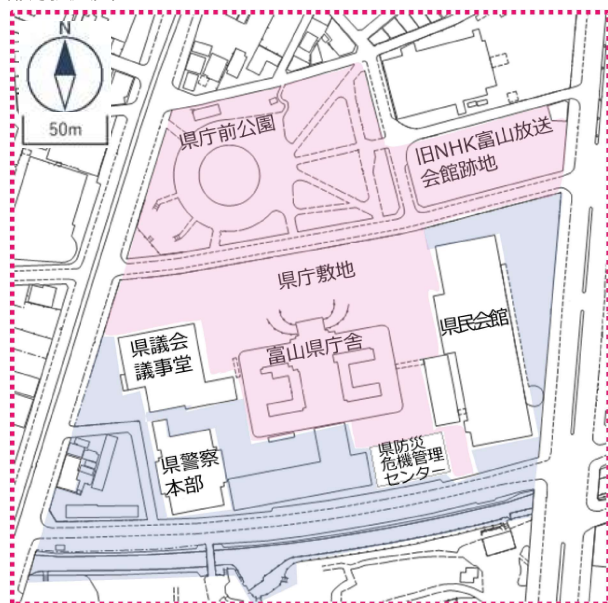
審査員

(50音順)

秋田 典子	千葉大学大学院 園芸学研究院 教授
久保田善明	富山大学 都市デザイン学部 教授
園田 聡	有限会社ハートビートプラン 代表取締役
田中 智之	早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 建築学科 教授
難波 悠	東洋大学大学院 経済学研究科 公民連携専攻 教授
西村 幸夫	東京大学名誉教授・國學院大學 観光まちづくり学部 学部長
富山県知事	

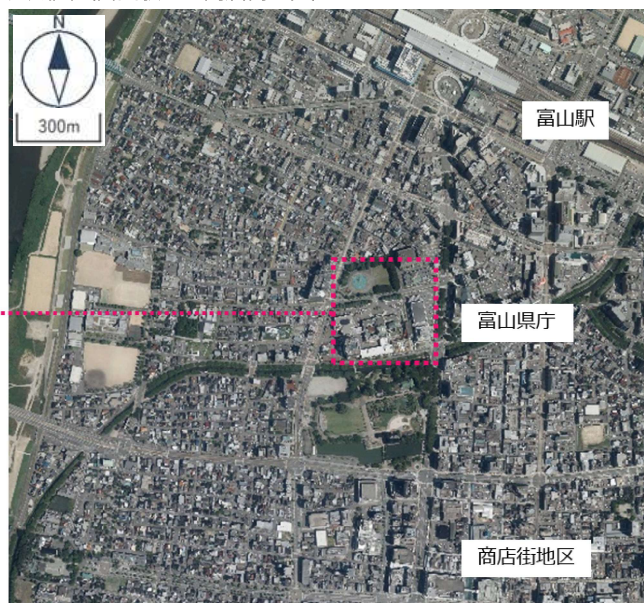
提案対象エリア

部分拡大図



- コアエリア：県庁前公園、旧NHK富山放送会館跡地並びに富山県庁舎及び敷地
- サブエリア：県庁敷地並びに松川及び沿道

広域図（富山駅から商店街地区）



出所：インフォマップとやま、国土地理院最影の空中写真（2021年撮影）

事務局

県庁周辺エリアアイデアコンペ事務局（株式会社日本総合研究所、株式会社PCO）

e-mail：200010-toyama_kenyuchi@ml.jri.co.jp